

# 地域おこし協力隊 ひらた通信

執筆・デザイン・編集：酒田市平田地域・地域おこし協力隊 霞本 祐一朗【田沢地区拠点】

内藤 小容子【東陽地区拠点】

協力隊1年目の内藤です。今回は両面とも担当させていただきます。

## 「たんぼのいきもの発見塾」を開催しました



7月26日（日）に「たんぼのいきもの発見塾」を開催しました。地元の自然をより身近に感じていただき、その魅力を再発見していただくというこの企画は、東陽コミュニティ振興会の例年行事「そばの種まき&流しそうめん」と共催させていただく形で実現。県環境アドバイザーの遠藤弘夫さんと、ローカル雑誌「庄内小僧」でいきものコラム執筆中の長船裕紀おさふねさんに、いきもの講師をお願いしました。

当日は、幼児～中学生の子ども達と、保護者をはじめとする大人の方、総勢40名弱の方々が参戦。たくさんのご参加ありがとうございます！

初めての試みで手探り状態でしたが、開始前の検温や、マスクの着用、手洗いの徹底、「流しそうめん」を“流し切り形式”とするなど、感染症対策を実施。コミ振共催ということもあり、地域の方々の「阿吽あうんの呼吸」のサポートに感謝しきりでした。さまざまな形でのご協力、本当にもっけでした！！

天候不順で畑の耕起が事前にできなかったため、残念ながら「そばの種まき」の実施はかなわず。しかし当日は少し雨に降られたものの、最後までお天気が大きく崩れることもなく（自分は“晴れ女”だと信じて！）無事に「流し切りそうめん」まで満喫できました。

地元の自然の中では「3密」を避けて楽しく遊ぶことができます。これをきっかけに自然やいきものにもっと触れ合っていただき、地域の“おもしろ”宝物を発見していただけたら嬉しいです。



## 「めんたま畑」も夏野菜に模様替え

7月13日（月）、平田地域の旬の集積所「めんたま畑」に再びお邪魔しました。季節が移り替わると、ラインナップもどんどん変化。すっかり夏野菜に模様替えしていました。

今回驚いたのは、漬物用の小なすだけでもたくさんの品種があること。品種と漬け方の違いでさまざまな変化も楽しめそうです！

「夕顔のけんちゃん」も作ってみたいと思いました。





# 「目ん玉夏まつり花火チャレンジ」を応援したい！ 県内唯一の花火製造業者「安藤煙火店」で地産地消の花火を



平田地域の恒例行事「庄内ひらた目ん玉夏まつり」は今年、新型コロナウイルスの影響で中止。閉塞感が広がる中、地域に元気を届けようと「サプライズ花火」の実行委員会が立ち上がっています！

ここで打ち上げられる予定の花火は、平田地域東陽地区中野俣にある「(有)安藤煙火店」の花火製造工場で作られます。なんと「(有)安藤煙火店」は山形県唯一の花火製造業者。創業1916（大正5）年の老舗の5代目で、若手花火師ながら

14年のキャリアを誇る取締役の安藤孝二さんにお話を伺いました。

年間7000～8000玉の花火を製造している「(有)安藤煙火店」。しかし、今夏の売り上げは新型コロナウイルスの影響で昨夏比8～9割減とのこと。

手作業を基本として、伝統と新しいことへの挑戦とのバランスをとりながら、丁寧に作られた花火玉。今夏も地元ひらたの夜空に咲くことを願ってやみません。

取材の詳しい内容は、「酒田市地域おこし協力隊【平田地域拠点】Facebookページ」からご覧いただけます。

「サプライズ花火」の実行委員会は、募金箱や口座振り込みによる協賛金や、クラウドファンディング（インターネットを介して多数の人々から少しずつ資金を集める仕組み）で、資金調達にチャレンジ中とのこと。私も微力ながら応援しています！



## ひらたの生きもの歳時記（外来生物・国内移入種編）

先月号からはじまった、ひらたの生きものをご紹介するこのコーナー。今回は本来この地域には生息していなかった“厄介者”を取り上げます。彼ら自身に罪はありませんが、人為的に持ち込まれたことで生態系にさまざまな悪影響を及ぼしています。これ以上広げないようにしたいものです！

### ○ウシガエル

北米原産の外来生物。食用、養殖用として戦前に導入された。口に入るものは何でも食べるため、元々の里山生態系を破壊してしまう。「ムー」という低音



の鳴き声が聞こえたら要注意。

### ○アメリカザリガニ

北米原産の外来生物。ウシガエルの餌として導入された。水草を切断し、他の小さな生きものを捕食するほか、横穴を開けることから

田んぼへの被害も懸念される。



### ○フクドジョウ

北海道原産の国内移入種。ペットなどとして本州に持ち込まれた。在来のドジョウ（ドジョウ、シマドジョウ、ホトケドジョウ等）のすみかを奪ってしまう。

“ドンジョしめ”文化の危機！



### ■さよぼーのひとりごと（編集後記に代えて）

最上川中流域での氾濫等、大雨の被害にあわれた方に心からお見舞い申し上げます。

私は少しずつ農作業を取材させてもらっており、田んぼの水はけをよくするための溝切り作業についても伺いたいと思っていました。しかし雨でなかなか日程が合わず、残念ながら断念。

長梅雨が明けず、農作物への影響などが心配されますね…。

二次元コードを読み込むと、酒田市地域おこし協力隊【平田地域拠点】Facebookページが見られます！

